

公表

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		MyStepジュニア谷六教室				公表日	令和 7 年 3 月 20 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		法令に則って指導訓練室等のスペースを確保しています		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		法令に則って職員配置をおこなっています		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		安全面に配慮し利用しやすい環境整備に努めています		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		支援が適切におこなえるよう、整理整頓に留意しており、当事業所の支援活動に合わせた空間となっています		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		児童の特性や当日の状態に応じ、合理的配慮に基づく個室の利用等を適切におこなっています		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		業務改善会議を定例含め頻回におこない、全社員に共有することでより良い支援体制構築に向けた取り組みをおこなっています		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者アンケートを実施し、業務改善につなげています		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的な1 on 1の面談も含めた意見交換をおこない、業務改善に生かしています		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		必要に応じ、検討します	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		支援技術、資質向上のための定例研修を実施しています		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		作成し、自社HPで公開しています		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		客観的かつ論理的なアプローチを大切にしており、丁寧に分析した上で支援計画を作成しています		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		支援内容検討会議も含め、タイムリーな共通認識の形成を図っています		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		職員間で共有した上で、計画に沿った支援をおこなっています		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		行動面・社会性面等の特性を把握するためのチェックリストを作成し、アセスメントの標準化を図り、適切に確認しています		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		項目ごとに目標を設定し、ニーズと発達特性に応じた支援計画の作成に努めています		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		支援プログラムの立案、改善、開発は、職員による支援会議を通じてチームで積極的におこなっています		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		子供たちの成長に応じた支援を提供できるよう、オリジナル課題の設定も含めた工夫をおこなっています		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。		○		集団活動については、児童や保護者のニーズを踏まえ、今後必要に応じ検討します
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		職員ミーティングで確認し、チームで連携した支援を実施しています	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		管理者が当日の支援内容を把握し、職員間で共有をおこなっています	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援記録を毎回作成し、支援検討、改善に活用しています	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的にモニタリングを実施し、支援計画の見直しの必要性を判断し、見直しを計っています	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		4つの基本活動を踏まえ、適切に組み合わせ支援をおこなっています	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		学習計画の立案等を通して自己決定の機会を大切にしています	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		担当者会議には、児童発達管理責任者が原則参加するようにしています	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて連携を図っています	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		必要に応じて情報提供・共有をおこない、連絡調整に努めています	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		必要に応じて情報提供・共有をおこない、相互理解に努めています	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		必要に応じて情報提供をおこなっています	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			必要に応じ連携を緊密に図り、助言等を受ける機会を持つようにしていきます
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		保護者ニーズや必要性に応じ、今後検討していきます
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		可能な範囲で参加し、情報収集・共有に努めています	
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		事業所内でフィードバック時に保護者との対話を通じて課題の共有を図っています		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		子供への接し方、支援の仕方について、適宜保護者支援をおこなっています		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		丁寧かつわかりやすい説明を心がけています	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		モニタリング時には、現状の課題の共有をおこなった上で、保護者、児童の最善の利益の図れるよう、意向確認をおこなっています	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		支援計画説明は、保護者（必要に応じ児童同席）に計画を示しながら説明を実施し、同意を得た上で支援をおこなっています	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		送迎時における対面や電話等により、適宜時間をとって必要な助言、支援をおこなっています	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		保護者の意向等も踏まえ、今後必要に応じて検討します
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情が万一あった際には、迅速かつ適切に対応する体制をとっています	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		ブログ等を通じて、活動状況、支援に対する考え方等の発信をおこなっています	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵付き書庫での個人情報の保管を徹底しています	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		研修を通じて、職員の言語化能力の向上を図るとともに、適切な伝達能力の獲得に努めています	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		支援形態および保護者と児童のニーズを踏まえた上で検討していきます
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルを完備し、指導員が緊急時に対応できるよう訓練をおこなっています	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを作成しており、同一法人内での連携も含め、必要な訓練をおこなっています	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		当該事項については、保護者から聞き取った内容について職員間で共有をおこなっています	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	/	/		食事提供をおこなっていません
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成した上で、安全管理に留意した支援をおこなっています	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		より一層の周知に努めます	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		職員ミーティングで共有し、検討するようにしています	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止研修を定期的実施しています	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		利用児童の安全確保のため、やむを得ず身体拘束をおこなう場合については、契約時に説明し同意書にて事前了承を得ています		